科目名 Subject　Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護総合演習Ⅲ Care　Practice　Support　Ⅲ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		
1単位	演習	選択　（介護福祉士養成課程必修）		

当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目

特になし

同時に履修しておくことが望まれる科目

特になし

担当者に関する情報

氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
久保　由佳	福祉棟2F	月・火・水・木・金 （授業時間を除く）	授業中に指示します

授業の概要

実習に向けて、要介護者・要支援者の生活背景について学習し、利用者理解につなげる。また、自立やQOL（Quality of Life）の視点をもち生活支援をするために、社会参加や余暇活動、レクリエーション活動等を通して、その人らしい生活を支える方法について学習する。

授業の到達目標

①介護の対象となる要援助者が生きてきた時代背景を理解できるようにする。
②その人らしい生活を支える余暇活動やレクリエーションの意義について理解できるようにする。
③利用者の自立とQOL向上を目指し、個性を生かした余暇活動やレクリエーション活動の支援方法について考えられるようにする。

授業の方法

講義や実習での体験から、社会参加や余暇活動、レクリエーション活動援助への具体的な方法について考える授業とする。要援助者の生活背景を調べたり、生活に彩りを添える壁面やカードを作成するなど、グループ演習を多く取り入れる。

学習の成果

①要援助者の時代背景を知り、利用者理解を深めることができる。
②生活背景を知ることにより、コミュニケーション時の話題を見つけることができる。
③季節や行事に合わせた壁面やカードを作成することができる。
④生活や人生を豊かにするレクリエーション活動等を考え、支援することができる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法・演習時の注意など） 余暇生活・レクリエーションの意義と目的　【講義】
第2回目	生活とレクリエーション　【講義】 ＊レポート課題：入所および通所施設におけるレクリエーションについて。提出期限は授業で指示する。
第3回目	要援助者の生活背景①　【講義と演習】
第4回目	要援助者の生活背景②　【演習】
第5回目	要援助者の生活背景③　【発表】
第6回目	要援助者の生活背景④　【発表とまとめ】
第7回目	施設におけるレクリエーション（行事など）　【講義】
第8回目	生活に彩りを添える①：壁面・カード作成　【講義と演習】
第9回目	生活に彩りを添える②：壁面・カード作成　【演習】
第10回目	生活に彩りを添える③：壁面・カード作成　【演習】
第11回目	生活に彩りを添える④：壁面・カード作成　【演習】
第12回目	生活に彩りを添える⑤：壁面・カード作成　【発表とまとめ】
第13回目	その人らしい生活を支えるレクリエーション活動、レクリエーション支援とは　【講義】
第14回目	レクリエーション活動の実際　【講義と演習】
第15回目	レクリエーション自立への支援、授業のまとめ　【講義】

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	以下の事柄で評価する。①授業に集中し、必要なことをノートにとっている。②課題の提出期限を守っている。③演習に積極的に参加し、グループワークでは自分の考えを述べている。
レポート	10%	課題のテーマに沿って学び・気づきが具体的に記述されていること、自分の考えがまとめられていることを基準に評価する。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）	40%	壁面・カード作品および発表態度を以下の事柄で評価する。【作品】①見た目、②工夫点、③テーマに合っているか、④楽しめるか等　【発表態度】①声の大きさ、②言葉遣い、③分かりやすい説明か、④説得力があるか
その他		

教科書と参考図書

新・介護福祉士養成講座　第６巻「生活支援技術Ⅰ」中央法規出版
必要に応じて資料を配布する。

履修上の心得・ルール

グループでの演習の際には積極的に取り組み、また、他のグループの発表からの学びを大切にすること。